

## 1. 各地区（全国8地区）で他大学や病院・薬局実務実習地区調整機構、薬剤師会、病院薬剤師会等との連携によって実施された教育研究活動

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（\*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

### 【2017年（平成29年）度】

#### <東北大学>

##### ○ スーパージェネラリスト・ファーマシストの養成教育事業

- ・医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門化として主体的に薬物治療に参画し貢献できる薬剤師を養成するための教育プログラムの構築を図った。認知症サポーター養成講座、禁煙・防煙指導講座、がんコミュニケーション講座を開催した。

#### <千葉大学>

##### ○ 実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム（\*）

- ・文科省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組として実施していたプログラムを2017年度も継続して実施した。千葉県薬剤師会、千葉県病院薬剤師会、医薬品適正使用推進機構と連携して、学部生のアドバンスト教育を千葉県内2薬科大学3大学が特徴的に有する教育プログラムと融合した教育を行った。
- ・大学間で相互に受講でき、単位を認定できる取組となっている

##### ○ 薬学部公開講座（\*）

- ・2019年度2回、千葉県薬剤師会、千葉県病院薬剤師会、と連携して千葉大学薬学部公開講座「千葉の医療を識る」を開催した。

#### <富山大学>

##### ○ 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース

- ・2017年度～2021年度、富山県病院薬剤師会・富山県薬剤師会との連携により、「高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース」をインテンシブコースとして大学主催で地域の薬剤師への教育活動として開講した。

#### <金沢大学>

○ アポテカプロジェクト **(\*)**

- ・金沢大学と白山市、コメヤ薬局（白山市）は、高齢化が進んだ地方の中山間地域に薬局を開設し、地域住民の未病や健康維持、地域医療を支える薬剤師の養成に取り組み産学連携の「アポテカプロジェクト」を開始した。
- ・プロジェクトは、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の一環として進められ、薬剤師を目指す学生に中山間地域医療への理解や課題解決の取り組みを学ぶインターンシップを開発・実施した。
- ・人材の地域定着を目指したもので、年度内に複数回トライアルを実施し、課題や問題点などを検証した上で、新年度から本格的に実施する。

○ NPOアカンサス薬局における学生実習

- ・NPOアカンサス薬局においてすべての学生が薬局実務実習を実施した。

<静岡県立大学>

○ 薬学会東海支部講演会 **【連携】**

- ・日本薬学会東海支部に所属する大学が研究者を招聘し、日本薬学会の資金的援助を得て薬学会東海支部講演会を公開講演会として実施した。

○ 東海薬学教育コンソーシアム **【連携】**

- ・東海地区調整機構に所属する薬系7大学が主体となり、各県薬剤師会、病院薬剤師会と連携して、新しい臨床薬学教育の推進のためのコンソーシアムを運営している。

○ 静岡健康・長寿学術フォーラム

- ・静岡県、静岡県立大学、静岡大学、浜松医科大学の4団体が協力して、大きな社会的課題である「健康長寿社会」の構築に関する最新の学術研究成果の発表を行い、その成果を県民に還元した。学部生及び大学院生が研究成果をポスターで発表した。

○ 薬剤師生涯学習支援講座 **【連携】**

- ・1年に4回、名古屋市立大学との共催で、薬剤師業務に役立つ大学発の薬学関連講座をインターネット回線をつないで実施している。

<名古屋市立大学>

○ 東海薬剤師生涯学習センター特別講義（公開講義）

- ・日本薬剤師会・山本会長による特別講義「薬剤師の将来を支える皆さんへー社会で真に評価される薬剤師を目指してー」を実施した。本講義は大学の薬学科4年生の授業の一部としてセンターが主催し、愛知県薬剤師会と連携し薬学実務実習の一環として薬学実務実習指導薬剤師を中心に広報して公開講義とした。
- ・実務実習を行っている実習生、実務実習事前学習履修者約200名、実習を指導する薬局薬剤師80名、その他関係者合わせて約300名の参加があった。

○ 東海薬学教育コンソーシアム **【連携】**

- ・名古屋市立大学に拠点を置き、東海地区調整機構に所属する薬系7大学が主体となり、各県薬剤師会、病院薬剤師会と連携して、新しい臨床薬学教育の推進のための

コンソーシアムを運営している。

#### <京都大学>

##### ○ 日本病院薬剤師会後援特別講演会

- ・日本病院薬剤師会との連携により、市立敦賀病院薬剤部長・荒木先生を講師とする「病院薬剤師の業務についてー薬剤師の専門性を最大限に生かそう」と題した日本病院薬剤師会後援特別講演会を実施した。現在の医療行政と薬剤師の位置づけ、病院薬剤師の業務等について講演いただき、約40名の学生の参加があった。

#### <岡山大学>

##### ○ 先進的薬局在宅業務教員研修（\*）

- ・次年度の授業化を視野に入れ、在宅医療において薬学的管理を積極的に実施している薬局において、教員が研修を行った。大阪府において在宅業務を中心に展開している薬局と、訪問に行っている有料高齢者施設ならびに個人宅を訪問・見学した。

##### ○ 薬学部進学セミナー（\*）

- ・鳥取県及び鳥取県薬剤師会と連携して、公開授業などの薬学部進学セミナーを開催した。多数の高校生及び保護者の参加があった。

##### ○ 地域中核病院見学研修（\*）

- ・進路に病院薬剤部を視野に入れている山陰地区出身学生を対象として、学部生対象に先進的な機器を導入し最先端医療における薬剤業務を展開している地域中核病院である島根県・松江市民病院において見学研修を行った。

##### ○ 川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流

- ・川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流を実施し、医療知識の習得としてだけでなく医療人としての自覚を促す観点からも重要な機会となった。

##### ○ 検体測定に関する公開講演会（\*）

- ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、「検体測定は地域住民を救い、薬剤師も救う！-薬局薬剤師による検体測定の意義-」と題する公開講演会を実施した。

##### ○ サプリメント等の臨床的エビデンスに関する公開講座（\*）

- ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、DHC研究顧問である医師を講師として「薬剤師は地域住民の健康維持・増進に何ができるのか？ -健康食品・サプリメントの有用性に関するエビデンスを知る-」と題する公開講座を実施した。

##### ○ 保険薬局における働き方改革に関する公開講演会（\*）

- ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、「大変革する保険薬局薬剤師の働き方 -なぜ成すべき業務に集中できるのか-」と題した公開講演会を企画し、パートナーを採用して薬剤師と協働することによって、薬剤師の業務負担を大幅に減少し、薬剤師が在宅業務に集中できるようにしている薬局から薬剤師とそれを支えているパートナーを招いて公開講演会を実施した。

- がん領域における先導的薬剤師を目指す公開講演会（\*）
  - ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、岡山大学病院の総合診療内科で漢方外来を行っている医師による「癌治療における漢方」と題した講演、がんプロ側から「免疫チェックポイント阻害薬の作用機序・PD-1の基礎研究から」と題する講演を行った。
- プライマリケア領域で活躍する先導的薬剤師養成に関する公開講演会（\*）
  - ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、第1回日本臨床薬剤師シミュレーション教育研究会との共催により、薬学生・薬剤師向け公開講座として、プライマリケア領域で活躍する先導的薬剤師養成に関わる公開講演を実施した。
- 検体plusバイタル測定講習会（\*）
  - ・岡山県薬剤師研修協議会の事業として、検体測定に関する公開講演会と学部生、大学院生、薬剤師を対象とした講習会を実施した。

<広島大学>

- 遺伝子検査セミナー
  - ・薬局薬剤師と大学の共同により、遺伝子検査セミナーを開催し、一般市民への啓発活動を実施した。

<九州大学>

- シンポジウム「大学院4年制博士課程に望まれる薬学研究を考える」
  - ・大学院博士課程に望まれる薬学研究を考えるために、大学教員と学生、病院・薬局の薬剤師との活発な意見交換を目的として、九州地区の国立大学法人3大学（九州大学、熊本大学、長崎大学）合同シンポジウムを開催した。

<熊本大学>

- レギュラトリーサイエンスプログラム（\*）
  - ・本学大学院教育における「高度医療人養成・レギュラトリーサイエンスプログラム」に関連した独自の取組として、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)との大学院連携講座「レギュラトリーサイエンス学」を設置した。
  - ・大学院講義「トランスレーショナル基礎講座」として、本学医学部附属病院総合臨床研究部研究展開センターやPMDAから講師を招聘して、特許申請・権利化、ベンチャー企業支援、前臨床試験のデザインと企業との連携、PMDAの組織および業務棟について学ぶ機会を提供した。
- 日本腎臓病薬物療法学会認定セミナー
  - ・福岡県薬剤師会との協働で2年間で8回「日本腎臓病薬物療法学会認定セミナー」を開催した。